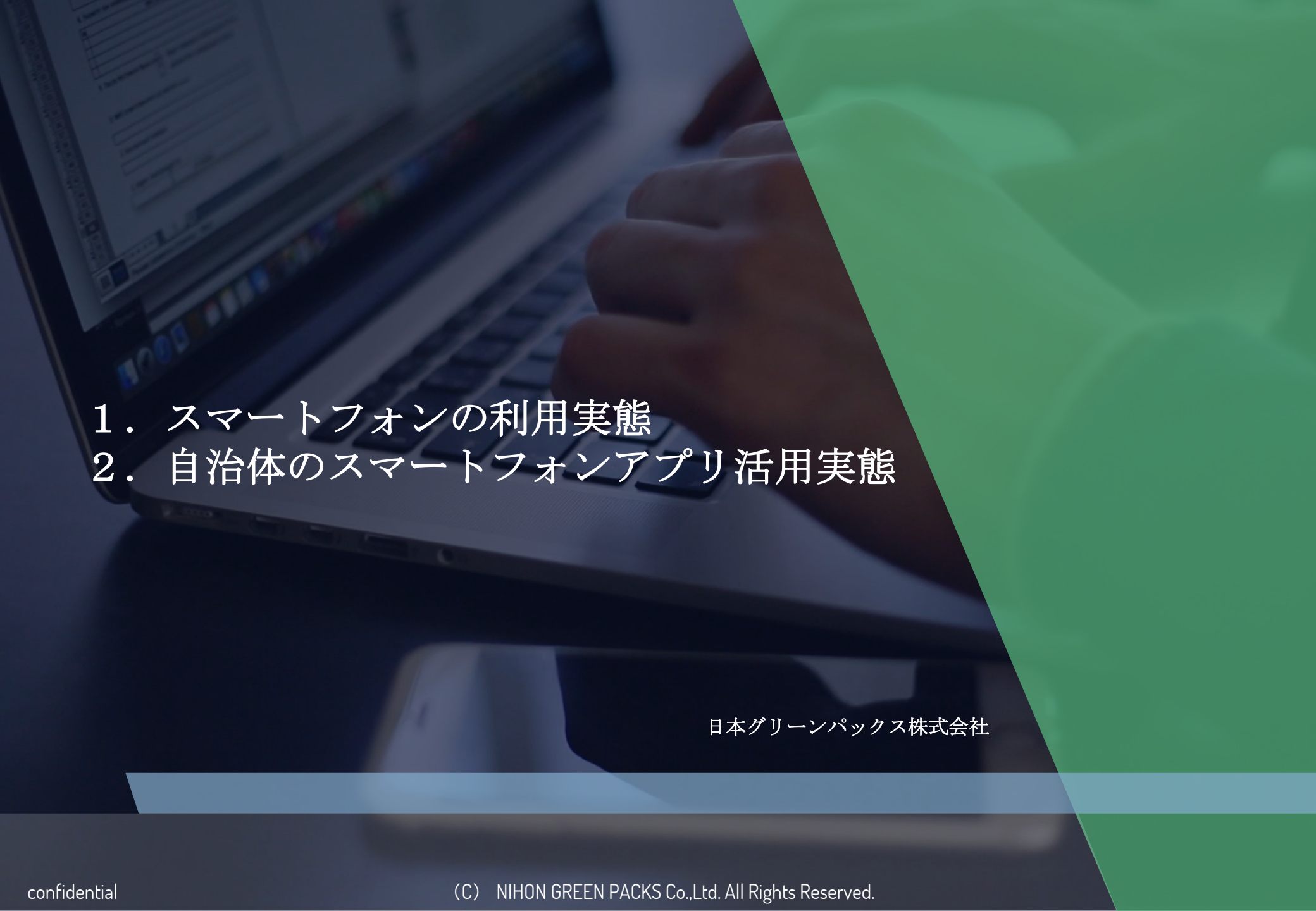


- 
1. スマートフォンの利用実態
  2. 自治体のスマートフォンアプリ活用実態

日本グリーンパックス株式会社

# はじめに



課題に合わせて自由にカスタマイズ

全部署で利用可能な自治体プラットフォームアプリ

日本グリーンパックス株式会社は**1969年**の会社設立から、各地の自治体に対して主に環境分野に関する新しい商品や仕組みの提案を行い、今では**全国100以上**の自治体と取引実績があります

自治体向けスマートフォンアプリ分野では、構築実績数**No1**※であり、幅広く自治体のお手伝いをしている会社です

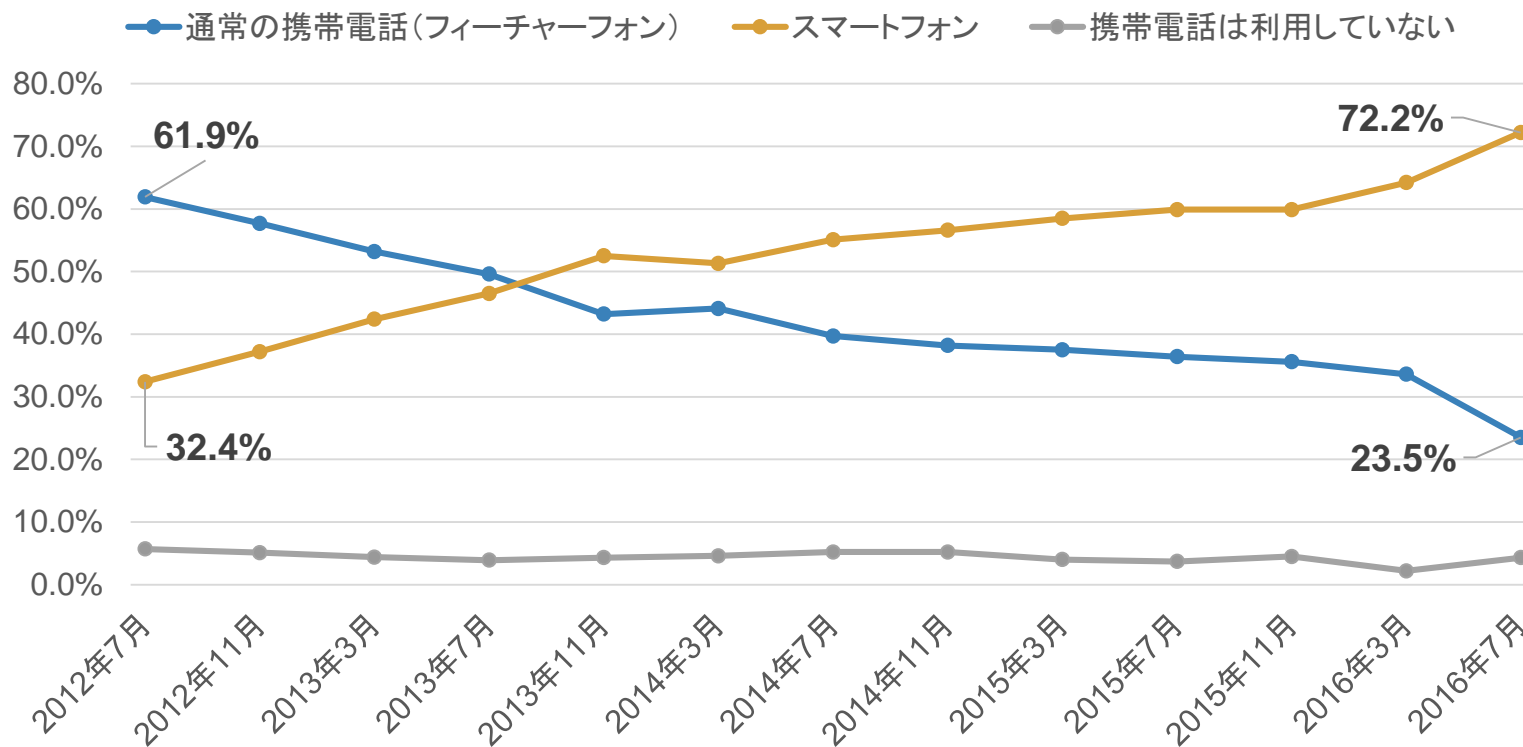
※日本グリーンパックス調べ\_201703

# 1. スマートフォンの利用実態

データ引用元：  
株式会社ジャストシステム  
Marketing Research Camp  
<https://marketing-rc.com/article/20160731.html>

# フィーチャーフォンとスマートフォンの利用推移（直近4年の変化）

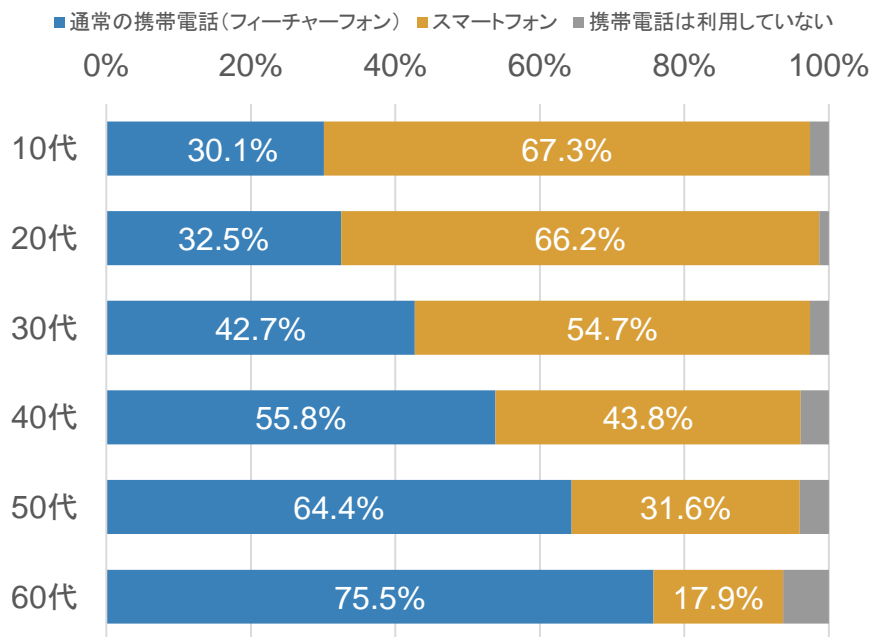
- ✓ 2016年7月のスマホ利用率は72.2%、4年間で2.2倍に
- ✓ 急増の契機は2013年9月iPhone5s発売、NTTドコモでiPhoneの取り扱い開始



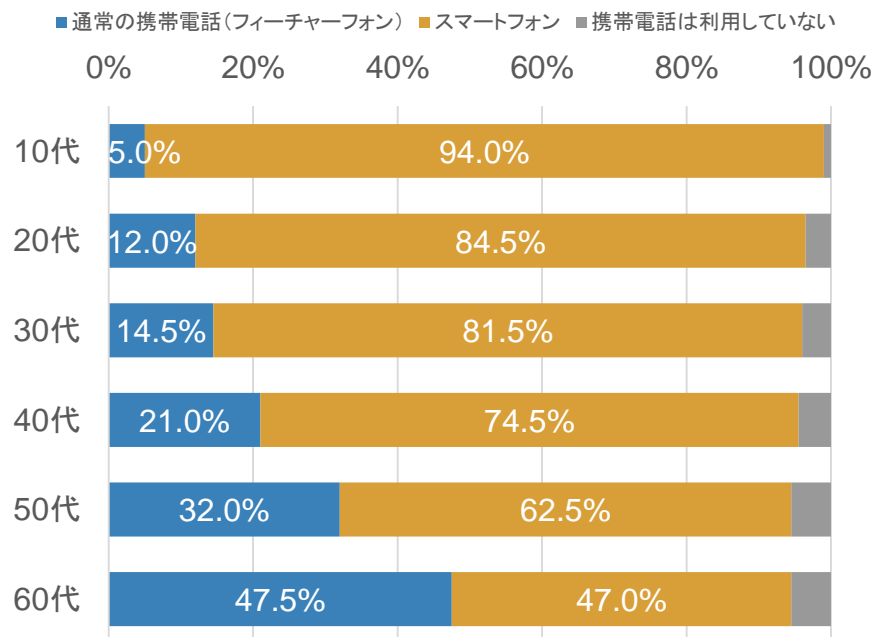
# 年代別・スマホ利用率（直近3年の変化）

- ✓ 全世代でスマホが急速に普及
- ✓ 特に60代では2013年7月にわずか17.9%だったスマホ普及率が47.0%に
- ✓ 10代のスマホ普及率はすでに94.0%（2013年7月時点は67.3%）

2013年7月 年代別・スマホ利用率



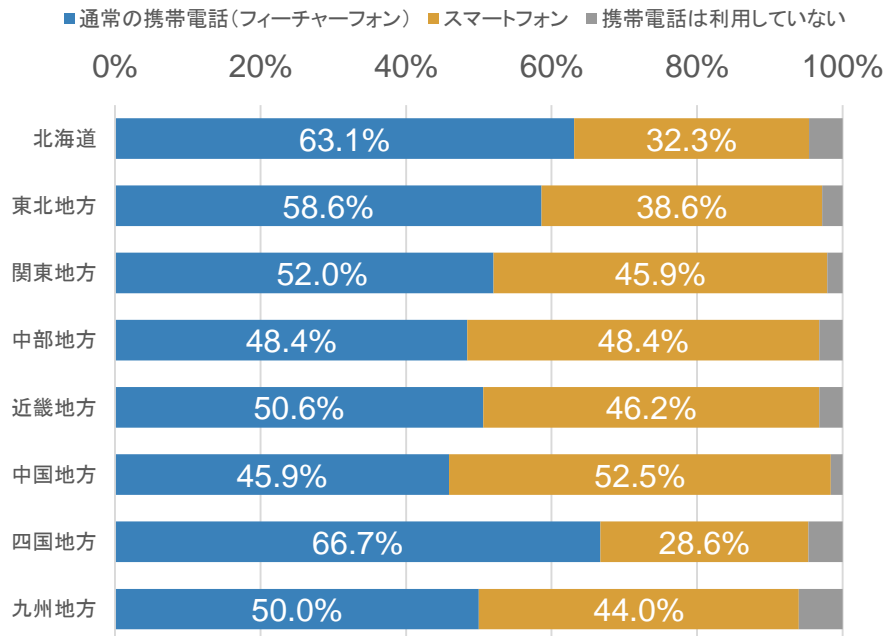
2016年7月 年代別・スマホ利用率



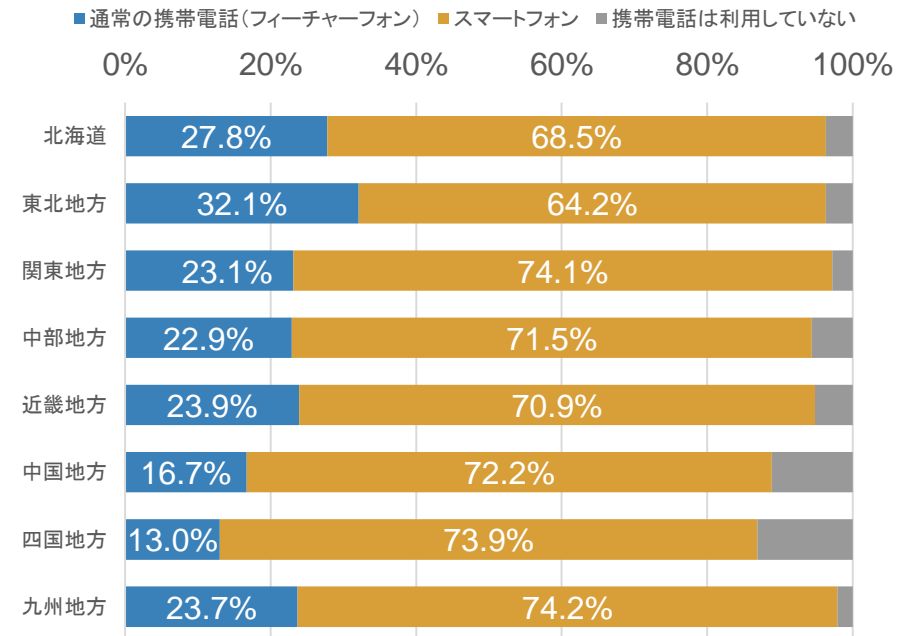
# 地域別・スマホ利用率（直近3年の変化）

- ✓ 地域間の利用率の差も減少
- ✓ 2013年7月から最も普及率が伸びたのは「四国地方」、次いで「北海道地方」

2013年7月 地域別・スマホ利用率



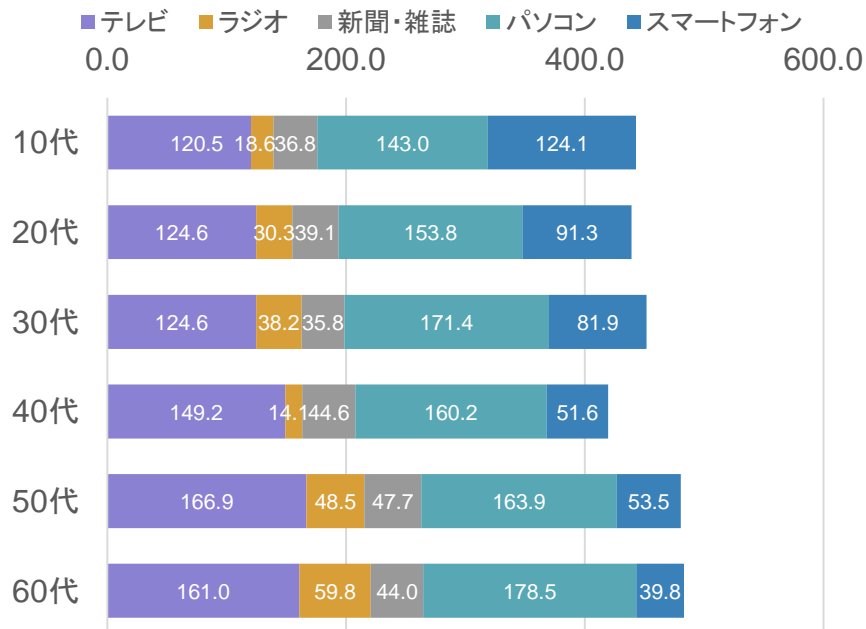
2016年7月 地域別・スマホ利用率



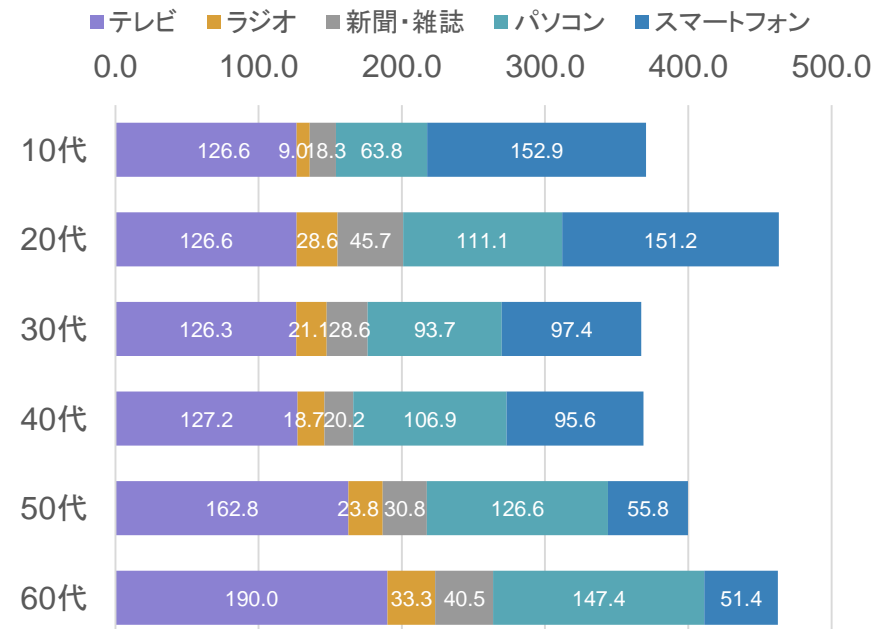
# メディア別視聴時間（直近3年の変化）

- ✓ 20代のスマホ利用時間が3年間で1.7倍、パソコンは3割減に
- ✓ テレビ以外のマス媒体は大きく減少
- ✓ 50代以下では特にパソコンが減り、スマートフォンが増加

2013年7月 メディア別視聴時間



2016年7月 メディア別視聴時間



## 2. 自治体のスマートフォンアプリ 活用実態

自社調査：  
日本グリーンパックス株式会社

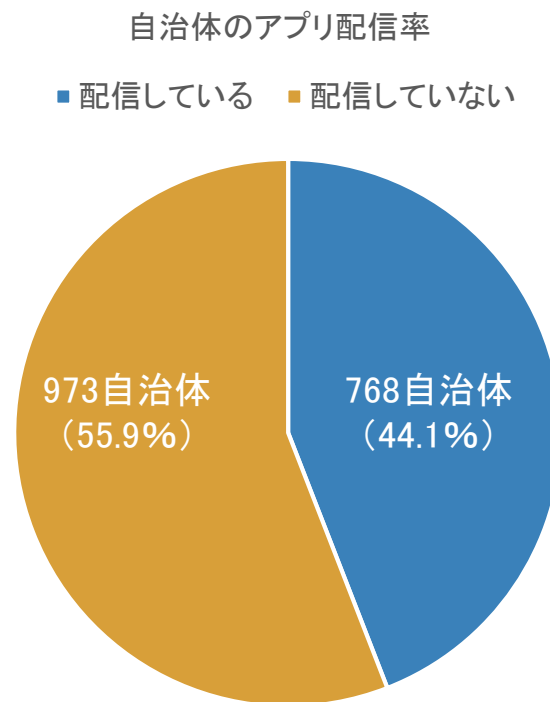
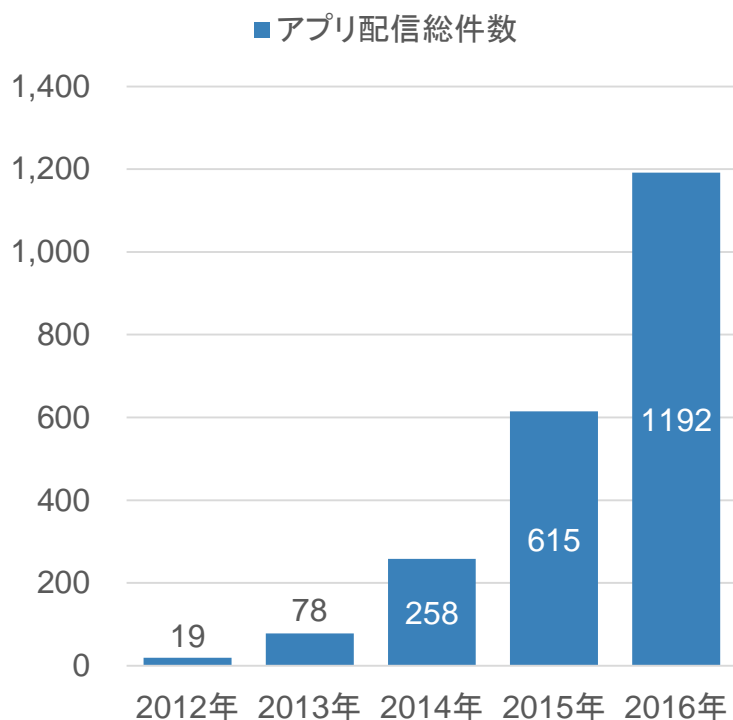


# 調査方法・注意事項

- ✓ 全国**1,741**の市町村が公開しているホームページ内で、自治体公式として紹介されているアプリのみを抽出し、アプリ配信数として集計
- ✓ ※集計期間：2012年1月から2016年12月末まで
- ✓ ※集計時期：2017年2月中旬から2月末までに作業
  
- ✓ 一つのアプリの中に複数の自治体の情報がある場合、それぞれの自治体がアプリ内で情報を発信しているため、複数として集計

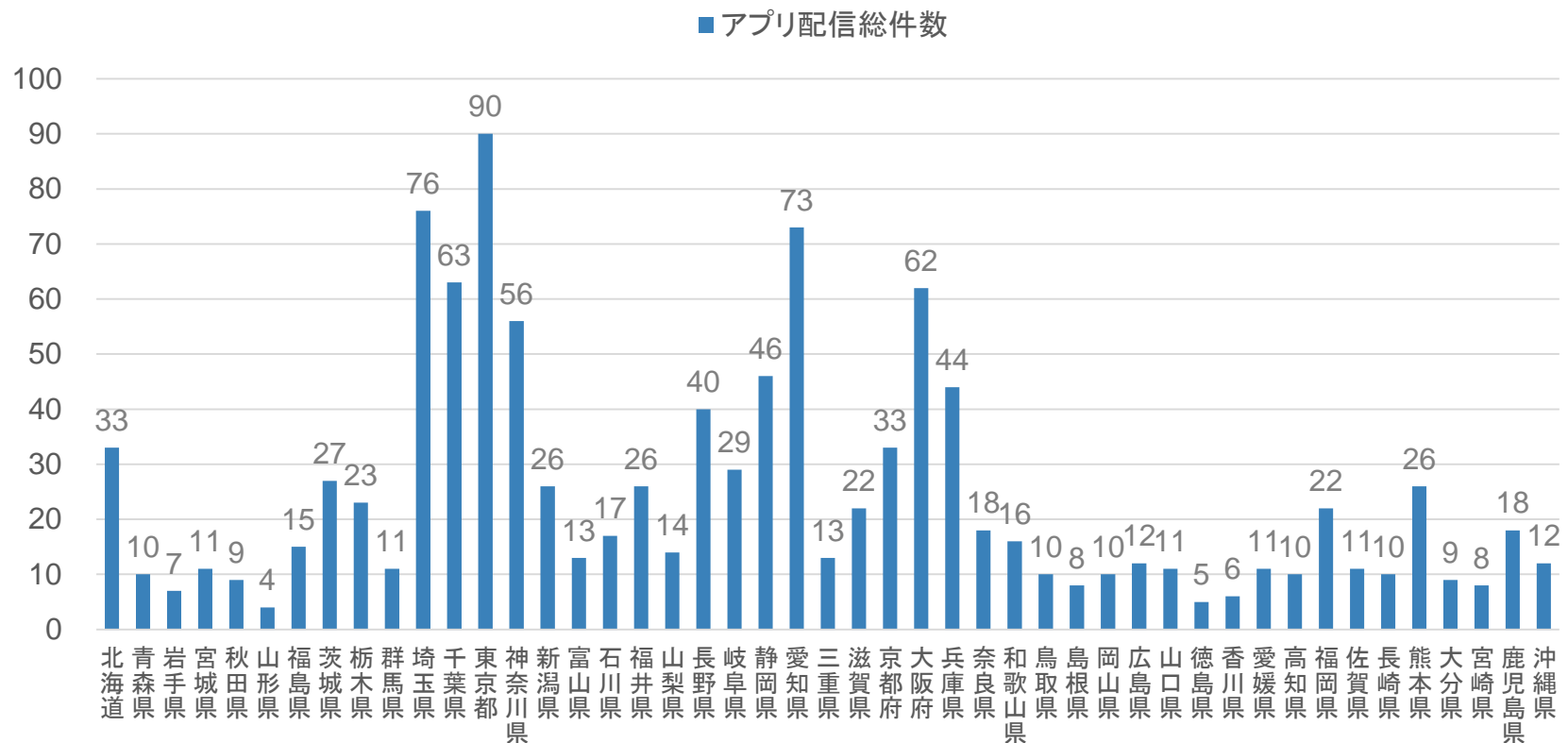
# 自治体のアプリ配信総件数推移・配信率 (直近5年の変化・2016年末時点)

- ✓ 直近5年で19件から急激に増加し、約62倍の1,192件となっている  
(配信数が毎年約200%近く増加)
- ✓ 全国1,741のうち768の自治体が配信しており、アプリ活用率は44.1%と半数近い



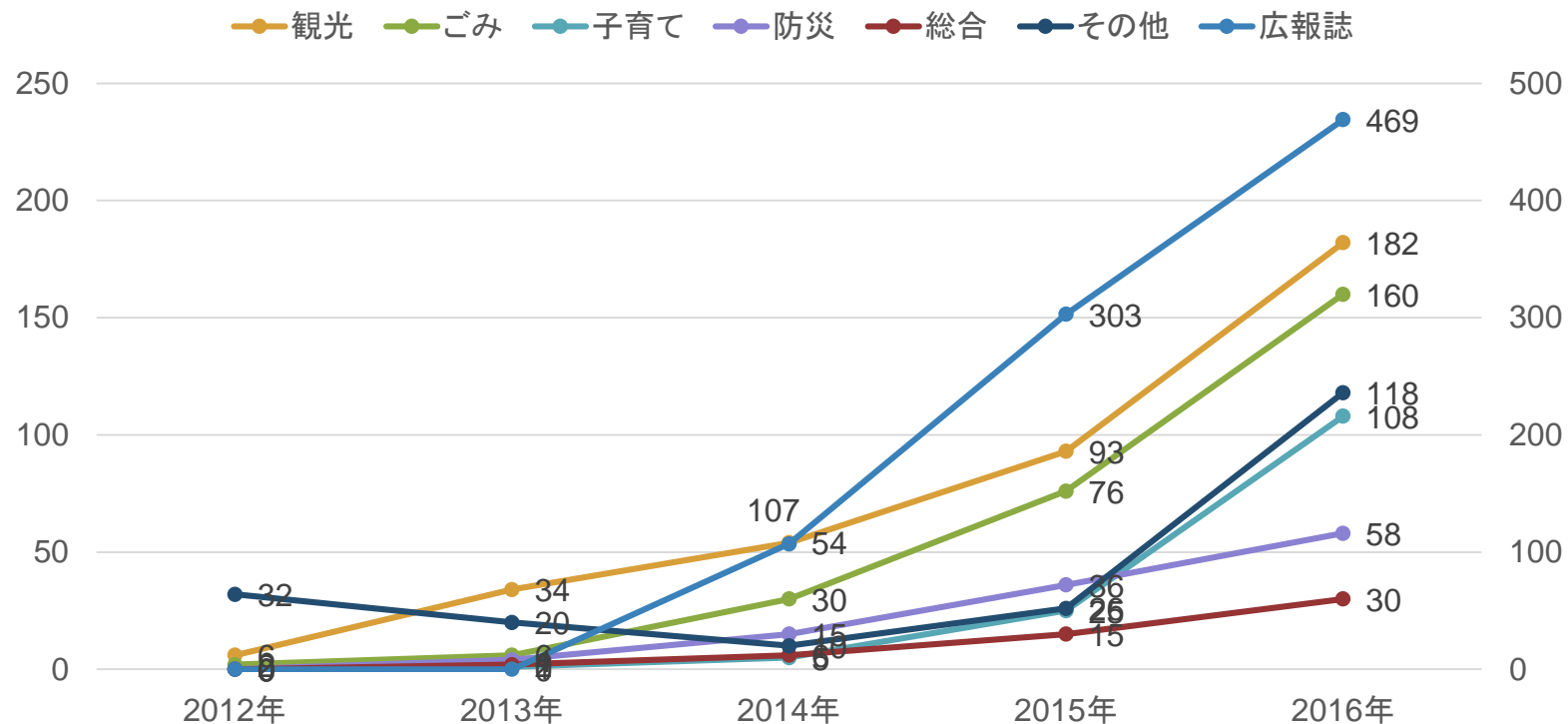
# 都道府県別アプリ総配信数（2016年末時点）

- ✓ 配信数では東京、埼玉、愛知県が多い



# カテゴリ別配信総件数推移（直近5年の変化）

- ✓ スマートフォンの利用推移同様に2013年から増加し、昨年一気に増加
- ✓ 2013年時点では観光分野が多いが、2014以降広報分野が躍進。同時にごみ分野も増加し、2015→2016ではごみ・観光子育てが焦点に

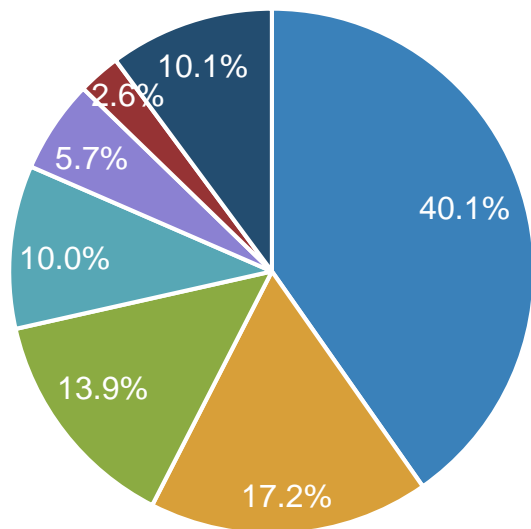


# カテゴリ別配信数シェア率・Androidインストール数カテゴリ別シェア率（2016年末時点）

- ✓ カテゴリ別で見ると広報、観光、ごみ、子育ての順に配信数が多く、この4カテゴリで全体の8割を占めている
- ✓ 一方で、Androidのインストール数カテゴリ別シェアをみると観光、ごみ、総合、その他の順に利用されており、一部のカテゴリは需要と供給にギャップがある

カテゴリ別配信数シェア率

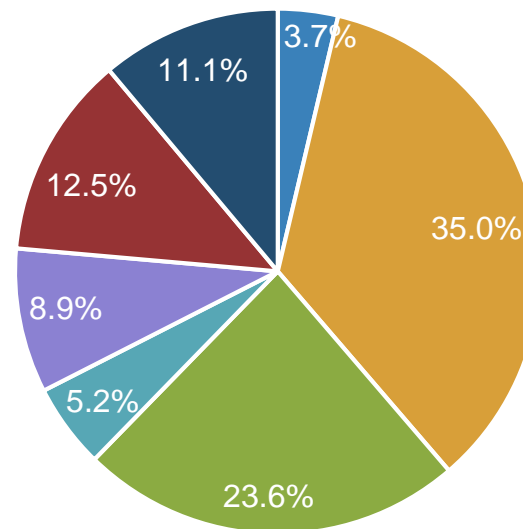
■ 広報誌 ■ 観光 ■ ごみ ■ 子育て ■ 防災 ■ 総合 ■ その他



※広報誌については自治体負担なしで活用できる一つのアプリにより件数が多い

Androidインストール数カテゴリ別シェア率

■ 広報誌 ■ 観光 ■ ごみ ■ 子育て ■ 防災 ■ 総合 ■ その他



※GooglePlayストアで公開されている参考用インストール数より、カテゴリ別に積算し集計

# 広報分野 詳細

- ✓ 広報分野については自治体が費用負担しないビジネスモデルのアプリが圧倒的シェアを誇り、500近くの自治体と同じアプリ内で情報を配信している
- ✓ 配信自治体数と比較しインストール数は少ないため、どのようにして利用者に見てもらおうかが重要となる

主な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ最新情報をプッシュ配信</li> <li>・広報誌のPDF等をビューワ表示</li> <li>・記事のスクラップ保存等</li> </ul>
課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙の印刷費用削減</li> <li>・イベントや相談会など効果的な周知</li> <li>・いつでも簡単に広報誌を閲覧してもらえる等</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段目を通してもらえない若年層が、市の行事等にも関心を持ってもらえた</li> <li>・広報誌が使い捨てにならない</li> </ul>



カテゴリ平均レビュー

# 3.1



	ポジティブ	ネガティブ
市場	<p>アプリを活用して情報を配信している自治体が多く、自治体や事業者側からみると活発な分野。2013年より広告モデルのアプリに多くの自治体が参画</p>	<p>主要カテゴリのなかで、一番配信数が多いにも関わらず、インストール数が少ないという供給とニーズギャップがある</p>
住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙と違っていつでもスマホから見れるのは便利</li> <li>・離れている地元の情報をみることができる</li> <li>・市政情報を常にチェックすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つのアプリに他地区の広報誌が載っててもみない</li> <li>・市のホームページから広報誌をダウンロードしたほうが早かった。アプリは要るのか。</li> </ul>

# 観光分野 詳細

- ✓ 観光客誘致に向けて多くの自治体が活用しており、ARやVRなどを利用した比較的話題性の強いアプリがインストール数も高くなっている。
- ✓ 上記ARやVRが活用できるような観光地ではない場合、機能より露出を優先し、独自開発ではなくツアーや観光地紹介のアプリで情報を配信するのも選択肢

主な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地を画像や動画で紹介、プッシュ配信</li> <li>・パンフレットなど紙媒体のPDF配信</li> <li>・クーポン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語対応</li> <li>・ARやVR配信</li> <li>・観光ルート案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイテムコレクション</li> <li>・今昔マップ</li> <li>・宿泊予約等</li> </ul>
課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の誘致、財源確保</li> <li>・地域振興</li> <li>・ファンづくり等</li> </ul>		
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリが利用され、観光客が増加した。また、外国人観光客にも好評</li> <li>・クーポンが使われているため、地域でお金が使われているのが実感できる</li> </ul>		



カテゴリ平均レビュー

# 4.1



	ポジティブ	ネガティブ
市場	自治体アプリが登場した初期から様々なアプリが登場している分野。単純な情報発信だけではなく、ARやVR活用も進んでいる	上位のアプリがインストール数の底上げをしている。有名な観光地以外はインストール数が低い傾向にある
住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客ではなく住民だが使っている</li> <li>・ARだからこそできる楽しみ方が増えた</li> <li>・観光ルートまで案内されていて、実際に利用したがすごく満足している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真等のデータが多いせいか、通信に時間がかかる</li> <li>・GPS情報の発信で電池の消耗が激しい</li> <li>・使い方が分からない</li> </ul>

# ごみ分野 詳細

- ✓ 配信数もインストール数も多く、需要と供給のバランスが取れている分野。ネガティブな要素も少なく、今後も増加が見込まれる。
- ✓ インストール数の高さについては、ごみ自体が日常的に関わる情報であり、対象者のニーズが高い為

主な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集日カレンダー</li> <li>・ごみ分別辞典</li> <li>・ごみの出し忘れ防止アラート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点回収などマップ</li> <li>・分別やりサイクルゲーム</li> <li>・多言語対応・観光ルート案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄など通報</li> <li>・ごみ関連情報プッシュ配信</li> <li>・ごみ減量家計簿等</li> </ul>
課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ不適正排出の防止</li> <li>・ごみの資源化推進、減量化</li> <li>・問い合わせ負担の軽減等</li> </ul>		
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層はもちろん、集合世帯についても不適正排出が減少した</li> <li>・パンフレットの一新と合わせて問い合わせ数が<b>40%</b>減少し、業務負担軽減につながった</li> </ul>		



カテゴリ平均レビュー

# 4.1



	ポジティブ	ネガティブ
市場	比較安価なサービスが多く、配信数もインストール数も高い。増加率を見ても今後さらに提供が進んでいくと思われる	市場に関するネガティブな要素なし
住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検索機能があるので普段ださないごみの出し方が簡単にわかる</li> <li>・収集日に合わせて届くアラートが特に便利。</li> <li>・粗大ごみの金額が分かるのがうれしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の住んでいる地域がない</li> <li>・粗大ごみの予約までしてほしい</li> <li>・重くて使えない</li> </ul>



# 子育て分野 詳細

- ✓ 現在マイナポータル含め国の政策により急激に増加しているが分野だが、インストール数とのギャップは大きい。（対象者が少ないため）
- ✓ レビューをみると評価の差が激しく、特にウェブサイトにリンクさせるコンテンツが中心だと評価が低い傾向にある。イベント情報の分かりやすい情報配信は必須

主な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援施策情報、プッシュ配信</li> <li>・子育てイベント配信</li> <li>・予防接種自動スケジュール生成・配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て関連施設マップ</li> <li>・おすすめレシピ</li> <li>・育児成長記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食検索</li> <li>・子育て相談等</li> </ul>
課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援対策</li> <li>・問い合わせ負担の軽減</li> <li>・マイナポータルとの連動等</li> </ul>		
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援施策の啓発活動が効果的にできた</li> <li>・イベント情報がすぐみれると喜びの声があった</li> </ul>		



カテゴリ平均レビュー

# 3.7



	ポジティブ	ネガティブ
市場	国の子育て支援政策により、2015～2016年で一番配信数が増加している分野。また、マイナポータルの開始により、更に同分野の盛り上がりが予測される	対象者が少ない為、広報誌の次に配信数と比較インストール数が低い。また、民間が主体となって提供するアプリが充実している
住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種、成長記録を入れられるのがいい</li> <li>・どんな制度があるのか視覚的にわかりやすく表示されていていい</li> <li>・子どもと遊びに行くときの催し探しが便利</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンク切れが多い</li> <li>・ホームページへの転載ばかりでアプリにする意味があるの？</li> <li>・重い</li> </ul>

# 防災分野 詳細

- ✓ 震災以降着実に配信数が伸びている一方で、最近は提供数の伸びが落ち着いてきている傾向にある
- ✓ 日常的な啓発活動という側面と、緊急時の情報発信という側面があり、両方の利用シーンを解決する仕組みが重要

主な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予測震度、液状化可能性、津波浸水深、津波浸水開始時間など各種災害時の情報配信</li> <li>・避難施設、避難場所などのマップ</li> <li>・帰宅支援情報の配信</li> <li>・ライブ画像配信</li> <li>・避難場所登録&amp;共有</li> <li>・ARを使った視覚的被害想定</li> <li>・懐中電灯や笛等</li> </ul>
課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する啓発活動</li> <li>・災害時など緊急時の情報発信など</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署との連携による不審者情報発信をしたところ、特に子育て世代から喜びの声が多く届いた</li> </ul>



カテゴリ平均レビュー

# 3.6



	ポジティブ	ネガティブ
市場	特に都市部で増加傾向にある。配信数と比較インストール数が高いため、需要がある。	震災以降増加していたが、他分野と比較すると配信数が落ち着いてきている。
住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国で使うようなアプリより地元情報があつていい</li> <li>・普段は使わないが入れておくだけで安心感がある</li> <li>・不審者情報があつて安心できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災したときに具体的に役立つ情報がほしい</li> <li>・オフラインで使えないと意味がない</li> <li>・ARや浸水予測はどこで使っても一緒であり意味がない気がする</li> </ul>

# 総合分野 詳細

- ✓ 中小規模の自治体を中心に増加傾向にあり、配信数と比較してインストール数が高い注目分野。
- ✓ 子育て分野同様にリンクが中心になっているレビューが低い傾向にある。マップイベントなど、分野を横断する内容でコンテンツを提供することがキーとなる

主な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野の情報発信、プッシュ配信</li> <li>・イベント情報の発信</li> <li>・マップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほか、各分野ごとに実装されている機能等</li> </ul>
課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な広報、情報発信</li> <li>・各カテゴリ同様の課題解決（実装されている機能による）</li> </ul>	
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な部署で紙媒体を発行しているが、若年層への情報伝達はより効果的である</li> <li>・ごみ問題やイベント伝達、補修が必要な道路の発見など、課題毎に解決手段を用意できた</li> </ul>	



カテゴリ平均レビュー

# 4.1



	ポジティブ	ネガティブ
市場	比較安価なサービスが多く、配信数もインストール数も高い。住民の藩王をみても今後さらに提供が進んでいくと思われる	他分野と比較し配信数の増加率は高くない。要因は総合アプリ自体の定義が曖昧、発展途上分野であるため
住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マップでいろんな情報が見れて役に立つ</li> <li>・要らない情報を非表示にできるが嬉しい。</li> <li>・いろんなイベント情報などがアラートで出て、初めて参加した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに飛ぶだけで意味がない</li> <li>・ごみの日などの情報くらい欲しいところ</li> <li>・容量が気になる</li> </ul>

# その他分野 詳細

- ✓ 非常に多種多様なアプリが提供されており、課題に特化したアプリも多い。
- ✓ インストール数をみると自治体発の取り組みや、話題性のあるアプリがインストール数が高い。また、わかりやすく課題解決ができるアプリは評価が高い。



カテゴリ平均レビュー

# 3.7



主な分野  
※配信数順

- |       |           |          |
|-------|-----------|----------|
| ①医療   | ⑪避難所      | ⑳日本語     |
| ②地域   | ⑫キャリアサポート | ㉑位置情報    |
| ③ゲーム  | ⑬ウォーキング   | ㉒震災      |
| ④防犯   | ⑭教育       | ㉓通信      |
| ⑤健康   | ⑮タクシー配車   | ㉔原子力情報   |
| ⑥歩数計  | ⑯経路検索     | ㉕多言語生活情報 |
| ⑦登山届  | ⑰バス接近情報   | ㉖性暴力など   |
| ⑧道路通報 | ⑱気象       |          |
| ⑨行政   | ⑲ポータル     |          |
| ⑩天気   | ㉔地域ねこ     |          |

ピックアップ

- ①医療：症状から緊急性を判断し適切な対処を促す。病院や警察への通報と連携し迅速な対象が可能に
- ③ゲーム：ネギを刈るゲーム。話題性が強く、インストール数が多い。市が制作に協力し、PRしている
- ⑰バス接近情報：接近情報が簡単にわかるアプリ。特にコミュニティバスの利用者（住民）から好評
- ⑳地域ねこ：地域ねこの制度理解・啓発などを目的としたアプリ。多くのメディアに取り上げられている
- ㉕多言語生活情報：様々な情報を外国のかた向けに発信。やさしいにほんご付きで学習向上にもつながる

# 自治体のスマートフォンアプリ 提供実態まとめ

- ✓ 自治体の配信数は直近**5年**で毎年**200%**近く増加しており、スマートフォンの利用率からも今後さらに自治体の活用が進んでいく
- ✓ 直近では観光、ごみ、子育て分野の配信数増加が顕著である
- ✓ 各分野の需要と供給を比較すると、「観光」「ごみ」「総合」の**3分野**が特に住民側のニーズが高い
- ✓ アプリを検討するうえで留意すべき点は「アプリ利用シーンの多さ」「容量の大きさ」「ニーズに合った情報配信」「アプリだからこそ提供できる機能」

# 会社情報・お問い合わせ先



## 日本グリーンパックス株式会社

本 社：京都府長岡京市城の里10-9  
東京支社：東京都中央区日本橋浜町3-26 浜町京都ビル3F

TEL : 075-954-5158 (本社) 03-6667-0277 (東京支社)  
WEB : <http://www.greenpacks.co.jp/>  
Perze : <https://perze.jp/>  
Service : <http://locapo.jp/>  
MAIL : [kssp@greenpacks.co.jp](mailto:kssp@greenpacks.co.jp)